

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	野呂山公園施設		
所在地	呉市川尻町板休		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	オートキャンプ場、トイレ、休憩所、展望台、歩道、車道、駐車場施設等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)野呂山観光開発公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R5	5,500人	5,090人	△130人
R4		5,250人	5,220人	1,246人	△30人(99.4%)
R3		5,250人	3,974人	△1,195人	△1,276人(75.7%)
R2		5,000人	5,169人	△1,485人	169人(103.4%)
R1		5,000人	6,654人	1,299人	1,654人(133.1%)
	3期平均 H26～H30	5,424人	5,355人	340人	△69人(98.7%)
	2期平均 H21～H25	4,110人	5,015人	1,863人	905人(122.0%)
	1期平均 H18～H20	—	3,152人	528人	—
	H17(導入前)	—	2,624人	—	—
増減理由	6月から10月にかけて小中学校の野外活動による利用が増加したが、日帰りで利用する一般利用者が減少したため、目標を達成できなかった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ヒアリング実施	キャンプ場利用者 91件
調査実施内容	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレが古く使用しづらい。	キャンプ場のトイレを和式から洋式に交換して利用者が快適に利用できるように努めた。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	— —
野呂山検討協議会(2回・現地)	【特記事項等】 施設の維持・修繕対策	【指定管理者の意見】 利用者を増やすために、古くなった施設の整備が必要である。
現地調査(3月)	【県の対応】 指定管理者と連携して、計画的に修繕を実施する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	4期	R5	5,053	19	料金 収入 (決算額)	4期	R5	4,491	△166
		R4	5,034	△4			R4	4,657	889
		R3	5,038	102			R3	3,768	△714
		R2	4,936	76			R2	4,482	△474
		R1	4,860	799			R1	4,956	1,660
	3期平均(H26～H30)		4,061	113		3期平均(H26～H30)		3,296	532
	2期平均(H21～H25)		3,948	0		2期平均(H21～H25)		2,764	1,310
	1期平均(H18～H20)		3,948	△364		1期平均(H18～H20)		1,454	103
	H17(導入前)		4,312	—		H17(導入前)		1,351	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	5,053	5,034	19	燃料高騰による増
		料金収入(※1)	4,491	4,657	△166	施設利用者減による減
		その他収入	24	19	5	
		計(A)	9,568	9,710	△142	
	支 出	人件費	6,414	5,080	1,334	人員配置の見直しによる増
		光熱水費	1,545	1,782	△237	電気使用料の減
		設備等保守点検費	910	1,001	△91	し尿汲取り費の減
		清掃・警備費等	419	503	△84	資材費の減
		施設維持修繕費	460	485	△25	トイレ・炊事場修繕費の減
		事務局費	30	36	△6	
		その他	821	786	35	保険料の増
	計(B)	10,599	9,673	926		
	収支①(A-B)		△1,031	37	△1,068	
	自主事業 (※2)	収 入(C)	—	—	—	
支 出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		△1,031	37	△1,068		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	野呂山の魅力を知ってもらうために、初めて自転車競技大会を開催したほか、各種イベント(手ぶらでキャンププラン、野外料理教室等)を継続実施した。	自然公園の利用促進を図るため、新たなイベントを企画し実施している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	利用者のニーズ・社会情勢にあった事業・営業の展開を継続的に実施した。	キャンプ場に知識のある職員を常駐させる事により、利用者のニーズに対応できるようにしている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ファミリー層向けのプランのチラシを呉市・東広島市内の小中学校に継続して配布することで、地域住民の利用促進やリピーターの獲得につなげた。	火起こし体験や星空観察といった学校行事の場として、昨年度よりも多くの呉市・東広島市内の小中学校の野外活動場所として利用されている。
	○施設の維持管理	定期的に施設等を巡回し、清掃管理を徹底したほか、修繕について県と連携して実施した。	清掃、草刈りを適切に実施し、快適な利用環境の提供に努めるとともに、トイレ等の修繕についても県と連携して行っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	キャンプ場とそれ以外の業務を兼務していた職員を、キャンプ場に常駐させることにより、より細かい利用者のニーズに対応できるようにした。	利用者の満足度向上に努めていることは理解するが、更なる経費削減に努める必要がある。
	○効率的な業務運営	周辺施設(野呂高原ロッジ)と観光情報や、緊急時の対応等を共有することにより、連携して一体的な管理運営を行った。	周辺施設と連携した施設の管理運営及び柔軟な人員配置により、効率的な運営を行っている。
	○収支の適正	利用者ニーズに応えリピーターの確保に努めるため、人員配置の見直しを行った結果赤字となった。	人件費等にも対応できるよう、更なる収支の適正化に取り組む必要がある。
総括		小中学校の野外活動による利用が増加傾向にあるが、一般の利用者が減少した。また、利用者のニーズに応えるため、人員配置の見直しを行った結果、赤字となった。	野呂山の魅力を知ってもらうために新たな企画を計画し、再訪を促す取組は評価できる。 一方で、小中学校の野外活動の利用だけでなく、新たな客層の開拓をするなど、利用者や収入増に努める必要がある。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和6年度)	小中学校の野外活動での利用を継続的にしてもらえるように働きかけていく。また、キャンプブームで初めてキャンプを体験した方に、再訪していただけるよう、利用者ニーズに応える。	他のキャンプ場との差別化を図り、利用者の満足度を高めることで、利用者や収入増に努める必要がある。
中期的な対応	施設の修繕等や利用増加につながる企画及び柔軟な料金設定を行うなど、県と協議を行いながら、適切な運営管理を心掛け、持続可能な施設を目指す。	施設の修繕については、指定管理者の意見等を踏まえ、緊急性の高いものから計画的に対応していくとともに、野呂山の今後の利活用について必要な支援を行う。